

日本人若者の東南アジアへの移動と就労  
-タイとフィリピンでのインタビューから-

Migration and Employment of Young Japanese in Southeast Asia : Based upon  
Interviews in Thailand and The Philippines

ソン・ウォンソク (宣元錫、SUN Wonsuk)

中央大学 (Chuo University)

キーワード：海外就労、現地採用、英語留学、キャリア形成

## 1. 問題関心と研究課題

近年さまざまな理由で東南アジアに移動する若年者が増えている。欧米とオセアニアが主流だった英語留学先もフィリピンを筆頭にアジア圏が浮上している。また短期旅行や語学留学を超え、就労先としても注目され始めている。本報告では、日本人若者がどのような経路と動機で、東南アジアに就労するのかを、実際に就労中の当事者へのインタビューを通して探った。

この調査研究の問題意識は、キャリアの初期段階において、日本の労働市場では決して高く評価されない途上国への就労を決心し実行に移した理由は何かという素朴な疑問から出発した。日本人の海外就労については、経済的要因より、社会的・心理的側面等からの分析（中澤他、2008）や、「自分探し」（加藤、2009）などのアプローチがある。一方、上海に就労する日本人を対象に、長期的な視点からの人的資源の向上とキャリア・アップの観点からの研究もある（阿部、2015）。本研究では、上記の研究がアジアの中でも先頭を走っているシンガポールや上海等と比較して、期待賃金やキャリア・アップへの期待がより低いと予想されるタイとフィリピンに就労する日本人を対象に、海外就労の動機と経路を探る探索的調査研究である。

## 2. 調査対象

本研究の調査対象は企業の命令で現地に赴任する駐在員ではなく、自分の意思で移住・就労している人に絞った。また留学など別の目的で滞在しながら不定期的にアルバイトなどをする人や、就労とは言い難い単純に滞在を目的とするいわゆる「外こもり」（下川、2007）は対象から外し、現地の企業に採用され働いている、いわゆる「現地採用」の人を対象にインタビューを行った。インタビューはタイのバンコク、フィリピンのマニラとセブで、2015年から2年にわたってそれぞれ2回行った。

### 3. 移住動機と経路

東南アジアに就労する若者の移住動機については明確に類型化が困難であるが、さまざまな背景、理由、動機などから、彼・彼女らの移動と就労の原因が蓄積されていく点があげられる。たとえば、はじめは語学を学ぶことを目的として移動が、語学を学んでいるうちに今度は学んだ語学を活かして仕事をしてみたい、あるいは現地で生活してみたい動機が生まれ、就労を決心したケースがそれである。またははじめは旅行だったがそのうち現地の文化や生活に魅力を感じて就労するケースもある。特に英語と関連しては英語教育の質的転換が唱えられ、仕事現場での英語の重要性が増している日本の状況と関連して注目すべきである。もう一つは、日本での就労や生活との比較の視点から、仕事の「面白さ」や生活の「楽しさ」や「楽しさ」をあげる人が多かった点を指摘できる。この点は視点を換えれば、日本での仕事や生活に「不適応」して海外に「逃げ」を図ったともとらえられる。だが、当事者たちは自身にとって優先度が高い点を積極的に選択したという意識が強く、満足度も高かった。最後に、キャリアに関しては、移住動機のなかで優先順位が低い一方、必ずしもマイナス評価とも言い難い。この点について、今回インタビューした人が多く働いていた現地の日系企業の現地採用者に対する期待と当事者の意識とのギャップを指摘できる。

就労経路に関しては、日本と現地にある人材紹介会社の仲介によるものが多数を占めるなか、現地では個人的なネットワークを活用して転職する人もいる。一つ、就労経路に関して、就労の前段階として現地の英語学校を経由するルートが浮かび上がった点は特筆すべきである。特にフィリピンの英語留学は2010年代に入って新しい留学先として注目されはじめたが、現地で英語を学んだ後、そのまま就労につながるケースが多く、東南アジアの英語留学が若者の海外就労の主要なルートになりつつある実情が確認できた。

#### 【参考文献】

- ・阿部康久、2015 「上海ドリーム」とその現実-上海における現地採用日本人若年者の移住動機とキャリア・アップの可能性」『地理科学』vol.70 no.3、地理科学学会
- ・加藤恵津子、2009 『「自分探し」の移民たち』彩流社
- ・下川裕治、2007 『日本を降りる若者たち』講談社
- ・中澤高志・由井義通・神谷浩夫・木下礼子・武田祐子、2008 「海外就職の経験と日本人としてのアイデンティティ:シンガポールで働く現地採用日本人女性を対象に」『地理学評論』81、日本地理学会